

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

第6回は、平成28年11月22日（火）清瀬第十小学校にて開催しました。地域住民、民生児童委員、学校職員、福祉関係者、地域活動ボランティア従事者など19名の参加をいただきました。新しい方2名を含め幅広い年代の方が十小地域について話し合いました。その概要をお知らせします。

第5回会議とその後の臨時会を振り返る

第5回から「子どもが安心して生活できる」「さまざまな世代の交流」をテーマにしてどんな取り組みができるかみんなで考えています。地域にニーズはあるのか、保護者はどのような取り組みをしているのか・・・それらを話し合うため、希望をされた方々が集まり、臨時会を行いました。

- 働いている保護者も多く、参加しづらい時間帯は、下校時や夕方など。
- 見守りする→あいさつする→コミュニケーションできる
- いろいろな人が目印をつけてあちこちに立つことで、犯罪の抑止力にもなる
- 取り組みの輪をどのように知らせるか？どう広げるか？
- 犬の散歩などついでにできるとよい

などなど

店や農家なども協力してもらえたら

できる時間で

見守り時間をポイント制にしては

できる場所で

子どもの見守り

おそろいの目印があるといい

他にも「地域の人が学校行事に参加して交流する」「子ども食堂の運営」「既存のサロンに親子で参加」などの意見も出されました。活動に取り組むためには、継続することが大事です。継続するには「強制でない」「日々の活動の延長上にある」「できる範囲で参加」「幅広い層が参加できる」ことなどが大事です。そこで、有志で準備の会（実行委員会）をつくり、プランを練ることにしました。1月の十小地域づくりの会で皆さんとプランを共有できるように、準備の会で話し合っていく予定です。

ただ、この地域を良くする取り組みは、子どもの見守りだけではありません。世代間交流や情報の共有、ちょこっと生活支援、障害のある方等の理解をすすめることなど今までに出されてきた意見はどれも大事です。こういった話し合いの場があって、継続していくことで、様々な取り組みの実現につながっていきます。すでに参加された方もそうでない方もどなたでも参加できます。一緒に考えていきましょう。



「子ども食堂」ってなに

地域の大人が、子どもに無料・安く食事を提供する取り組み。貧困や孤食の子どもに食と居場所を提供するものから始まりましたが、すべての子どもや大人など対象を限らず交流できる場として提供されるものなど、全国ではさまざまな「子ども食堂」が運営されています。

話し合いのサイクル

参加者同士の情報交換や地域を知る

地域の課題や現状について話し合う

課題解決に向けた具体的取組み

活動の継続

世話人会の発足

次回開催は12月15日（木）13：15～ 清瀬第十小学校2階けやきにて懇親会をします！どなたでも参加できます！ぜひおいでください！